



29東経企収第28号の2
平成29年 8月 7日

東村山市議会議長
伊藤真一様

東村山市長 渡部 尚



文書質問の回答

平成29年7月27日付、29東議発第62号にて、貴職よりいただきました文書質問につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

質問番号1 所沢市「ところバス」の多摩湖町地域への乗り入れについて

1. アンケートの調査結果につきましては、8月9日に開催いたします「東村山市地域公共交通会議」にて、報告いたします。
2. 広域連携については、例えば、所沢駅から東村山市内のバス停までの利用客は、どちらの市の収入にするか判断できないという課題があり、実際の運賃収入額を算定することはできません。従いまして、収支率の40%に代わる算定方法を現在検討しているところでございます。
費用負担につきましては、他市の広域連携で算定方法として採用している路線延長に基づいた距離按分での費用負担が妥当だと考えております
3. 同地域については、民間路線バスとの競合問題や道路幅員等の問題があり、数年間なかなか代替案が見つからない状況でありました。こうした経過を踏まえ、今回の広域連携が多摩湖町地域の交通不便地域解消の方法と考えております。
その中で、今回の俎上に上がっている、所沢市との広域連携について

は、両市に地域公共交通会議が設置されていることから、それぞれの地域公共交通会議で議論され、広域連携について、それぞれ合意される必要があります。

今後は、今回の需要調査の分析結果を基に8月9日に開催いたします「東村山市地域公共交通会議」にてご議論いただき、その結果を基に、具体的な対応を行っていきたいと考えております。

以上